

2024（令和6）年7月15日

## 第1回全国高校新聞コンテスト 募集要項

主催：全国高等学校新聞教育研究会

後援：報道実務家フォーラム

：早稲田大学次世代メディア・ジャーナリズム研究所

### 1. 目的

現在のネット社会に対応できる学校新聞の在り方を模索しながら、未来志向で学校新聞を発行するために、自ら情報を収集し、そこで得られた知見を自らの問題として捉え、確かな情報として発信する力を育てている全国の高校生とその活動を支援する教員を多角的な視点から顕彰します。

### 2. 募集対象

全国の高等学校に所属する生徒(中等教育学校の後期課程や高等専門学校の3年生までに所属する生徒なども含む)が教員などの指導の下に作成した学校新聞を審査します。原則として、新聞を発行している学校関連団体の教員からの応募とし、生徒個人からの応募は受け付けません。

### 3. 応募受付期間

2024(令和6)年7月15日(月)～8月7日(水)(消印有効)。

### 4. 応募対象紙

2024(令和5)年8月1日以降に発行された学校新聞のうち、審査を希望する1号を審査します。応募申込みはメールで、また「審査を希望する新聞」1号を6部用意し、6部それぞれに応募票をクリップ止めしたものをまとめて、以下の全国高校新聞コンテスト受付センターまで郵送してください(紙面は持参や宅配便でも構いません)。

○応募の手順( A. → B. の手順で応募してください。Bによる紙面の到着で応募完了となります)

#### A. メールでの応募申込み

件名を「(学校名)全国高校新聞コンテスト応募」(※(学校名)は自校名に書き換えてください)として、

①応募校名 ②顧問名 ③応募紙の発送(予定)日時 ④その他(必要があれば)

を記載し、8月7日までに以下のアドレスまでメールでお送りください(このアドレスに審査結果等をお送りします)。

全国高等学校新聞教育研究会 常任理事 矢野 悠季

[yano.yuuki.02@spec.ed.jp](mailto:yano.yuuki.02@spec.ed.jp)

#### B. 紙面の送付

審査を希望する応募紙1つを6部用意し、それぞれに応募票をクリップ止めして送付(8/7 消印有効)。

送付先

全国高校新聞コンテスト受付センター  
〒355-0018 埼玉県東松山市松山町1-6-10 松山高等学校内  
全国高校新聞コンテスト受付センター(担当:矢野悠季)

## 5. 審査員

全国高等学校新聞教育研究会(以下「全高新」)の理事などの有識者 5 名で審査を行います。

## 6. 賞

総合的に優れた紙面や、地域に根ざし報道性に優れた紙面や、紙面構成と文章表現力に優れた紙面、生徒の活動がよく表現された紙面、写真の使い方や写し方が優れた紙面など、多角的な視点から高校新聞を作る努力を評価し、金賞、銀賞、銅賞、奨励賞などを相応の学校に授与します。

## 7. 結果発表

審査結果は 9 月下旬を目処に本研究会ウェブサイトにて発表するとともに、授賞の有無にかかわらず、応募時に登録されたメールアドレスに通知を送付します。

入賞校に関しては、毎年 10 月に本会が主催する指導者研修会の会場において顧問を対象とした表彰式を実施し、その様子はオンラインで配信する予定です。

## 8. 注意事項

応募紙は紙面の形での応募とし、デジタルデータの形での応募は受理できません。また、応募された紙面は返却できません。応募に関して得られた情報は適正に管理すると共に、各種案内に利用することがあります。また、入賞校の紙面は、個人情報などに配慮した上で全高新の Web サイトでの公開や本コンクールの PR 活動、全高新主催の指導者研修会での紹介や講評などで活用する場合があります。

応募校は、上記を含めて、応募団体の情報を全高新が必要と認める範囲内で利用することに承諾したものとします。

## 9. その他

全高新では、この新しいコンテストを、よりよい学校新聞作成のために日夜努力する高校生とそれを支える教員を支える存在としたいと考えています。今年の指導者研修会では「みんなで育てるコンテスト」として皆様方のご意見を伺い、次年度以降のコンテスト運営にできるだけ反映させ、より高校生のためになるコンテストにしていくことができるようにしたいと考えています。

なにとぞご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 10. 問い合わせ

全国高校新聞コンテスト事務局  
〒733-8511 広島市西区楠木町 4-15-13 崇徳高等学校内  
全国高校新聞コンテスト事務局 (担当:花岡健吾)  
082-237-9331 hanaoka@sotoku.ed.jp